



## 将来の災害に備えを

日測協

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は6月24日、東京都文京区の東京ドームホテルで2024年度の定時総会を開き、本年度の事

業計画などを報告した。引き続き、測量や地理空間情報分野で調査研究を進めるとともに、専門技術者の教育研修事業に取り組む。中核業務である測量機器・測量成果の検定は、本部と支部が連携してスピード感をもった対応で取り組む。

清水会長は「大きな役割の一つとして能登半島地震への対応がある。大きくは復旧・復興測量の支援が責務だ。現在進行形で今後どうなるかを見ていかないといけない。改善すべき点があれば方向性を考えて、将来の災害に備えたい」と述べた。写真。